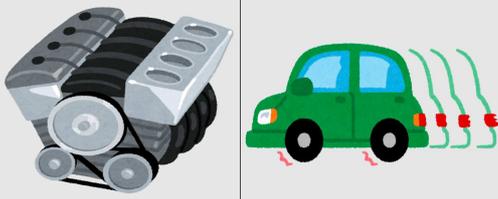


# グッドドライバー 橋文野郎



## 燃費の良い走り方



### ポイント③エンジンブレーキを使用

・ブレーキはなるべくエンジンブレーキを使いましょう。止まる着前で間でアクセルを踏んで加速し急ブレーキをかけるのではなく、泊まりたい場所の手前からアクセルを離してエンジンブレーキでスピードを落としていくよう心がけましょう。あまり手前からこれをやると、後続車に迷惑をかけたり渋滞を生み出すので後続の状況も確認し、問題のない範囲で行いましょう。



### ポイント①事前準備

・タイヤの空気圧が適正値より50kpa不足していると市街地で2%、郊外で4%程度燃費が悪化するとされています。タイヤの空気圧は自然に低下するので月1回、運転前のタイヤの空気圧チェックをしましょう。  
・いらない荷物をおろして燃費アップ  
100kgの荷物を載せて走行した場合、3%の燃費が悪化する可能性も。ゴルフバックやキャンプ用品など車に積みっぱなしになりがちな荷物をおろすことが燃費向上につながります。



### ポイント④エアコンの使用は適切に

エアコンの「A/Cスイッチ」をONにすると、冷房として社内を冷却・除湿できます。冷房の場合はエンジンでコンプレッサーを動かして空気を冷やしているの、その分燃料を使い、燃費は悪くなります。暖房はエンジンの熱を利用しているので影響は少ないです。



### ポイント②アクセルの踏み方

アクセルは「踏む」のではなくゆっくりと「踏み込む」ように、AT車の場合は、ブレーキを離した状態のクリーブ現象を利用して、徐々にスピードを上げましょう。急発進は事故の原因にもなりますよ。



冬タイヤは一般的に何年くらい持ちますか

検索

平均寿命は3～4年

最大で5年

## 寿命を見分けるポイント

### 溝の深さを確認しよう

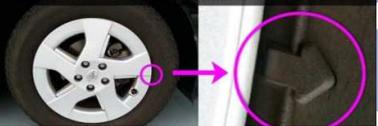
#### スタッドレスタイヤのプラットホーム



溝の深さの見分け方は、プラットホームで判断します。タイヤの溝をよく見るとタイヤ一周につき4個の出っ張りがあります。これがプラットホームです。

### プラットホームの探し方

#### プラットホームを探す時の目印



プラットホームを探す時には、タイヤの側面にある矢印を目安にしてください。その矢印の方向にプラットホームがあります。

### タイヤの製造年で確認しよう



スタッドレスタイヤは製造されてからどの程度時間が経っているかというのが使用限界の目安となります。タイヤの製造時期は、タイヤの横の部分に刻印されています。4桁の数字の部分に製造の時期、前半2桁が製造された週数、後半2桁が製造された年を指します。この場合は2015年の32週目(9月)に製造されたこととなります。



タイヤがすり減ってプラットホームが出るとようになります。これではスタッドレスタイヤとしては使えません。  
※スタッドレスタイヤ(新品)の溝の深さは、通常のものなら約10mm。プラットホームはその半分の高さなので、約5mmです。

グッドドライバー「橋文野郎」アンケート・ご感想はこちらから  
<https://forms.gle/FaNoTREaRZ7cGTuE6>

